

がん治療 / がん緩和ケアに関わる医師などの医療従事者の皆さま向け

参加無料 Zoom ウェビナー配信

11/6 Sat

13:00-16:00

がん患者の苦痛緩和を
推進するために
今私たちに必要なこと

進行がん患者の 苦痛緩和 のための医療者セミナー

緩和ケア研修会などがん緩和ケアを学ぶ機会が増え、多くの医療従事者ががん緩和ケアの基本的なスキルを身に着け、実践しています。しかし一方で、未だ約 40% の方は、苦痛とともに最期をむかえている、という遺族調査の結果がございます。

がん患者さんの苦痛緩和をさらに向上させるために、今、私たち医療者に必要なことは何か、本セミナーを通して理解し、明日からのがん緩和ケアの臨床実践に生かすきっかけになれば幸いです。

お申し込みは申込フォームより
<https://jigyoku.com/kanwa/touroku.html>

お問い合わせセミナー事務局まで
(オスカー・ジャパン株式会社国際事業部)
e-mail: kanwa@oscar-japan.com



● 主催 ●

厚労科研「がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究班 (班長：里見絵理子 [国立がん研究センター中央病院])」

● 共催 ●

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 一般社団法人 日本 IVR 学会

● 後援 ●

一般社団法人 日本ペインクリニック学会 公益社団法人 日本放射線腫瘍学会

11/6 Sat
13:00-16:00

進行がん患者の 苦痛緩和 のための医療者セミナー



PROGRAM

開会の辞

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 里見 絵理子先生

I. がん疼痛の緩和医療 (各15分)

- ① がん疼痛緩和の本邦の現状 国立がん研究センター東病院 緩和医療科 松本 禎久先生
- ② メサドンによる薬物療法 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 里見 絵理子先生
- ③ 放射線療法 聖マリアンナ医科大学 放射線治療科 中村 直樹先生
- ④ 画像下治療 国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 曾根 美雪先生
- ⑤ 脊髄鎮痛法・神経ブロック 佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科 小杉 寿文先生

討論

～ 休憩 ～

II. がん疼痛・呼吸困難・せん妄の体系的治療

- ① がん疼痛 東北大学病院 緩和ケアセンター 田上 恵太先生
- ② がん患者の呼吸困難 聖隷三方原病院 緩和支援治療科 森 雅紀先生
- ③ 終末期の過活動せん妄 聖隷三方原病院 ホスピス科 今井 堅吾先生

討論

閉会の辞

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 里見 絵理子先生